

オイ報 家事労働の現状

日本社会家政 ○ 沖田昌美子, 志賀 英, 共栄学園短大 樋口真基子

調査目的 オイ報にひき続き, 家事労働の分担現状とその規定要因について報告する。ここに家事労働を買物, 洗濯, アイロンかけ, 各室の掃除(浴室, 便所, 玄関, 専用の部屋, 共用の部屋, 庭)及び炊事(朝食・夕食)と後片づけの12作業とした。

調査方法 オイ報参照。

調査結果 [家事作業の分担現状について] 1. 現在一緒に親・子世帯の主婦が行なう作業が多いが, 中でも親世帯の主婦(以下親と略す)がする作業は“庭の掃除”, 子世帯の主婦(以下子と略す)が主にする作業は“買物, 浴室の掃除, 共用の部屋の掃除, 朝, 夕の炊事, 後片づけ”である。なお“洗濯, アイロンかけ, 専用の部屋の掃除”は親子別々にする作業となっている。2. 現状の分担に対する満足度については, 子が主としてする場合圧倒的に親世帯の満足度が高いのに対し, 親が主としている場合子世帯は必ずしも満足するものが多いとは言えない。現在別々にしている場合も現状に満足するものが多いが, 作業により親子の満足度に対する傾向はやや異なる。3. 今後の希望として, 子が主としている世帯では今後も一緒にしたいとする希望が親子ともに強いが, 親が主としている世帯では作業によりその希望傾向は異なる。4. 分担希望の理由も家事作業, 親子世帯により若干異なっている。[家事作業の分担とその規定要因について] 家事作業の分担現状は, ①親世帯の主婦の年齢 ②親世帯の主婦の健康度 ③子世帯の主婦の職業の有無 ④生活空間の現状により影響をうける。その影響は家事作業の種類によって異なる傾向を示す。(満足度・希望を左右する要因は省略)

本報告は, 財団法人「日本住宅総合センター」の援助を得ておこなわれた研究の一部である。